

防災の日



9月1日配信開始 防災情報提供サービス

9月1日から気象・地震・避難情報などの防災情報の提供サービスを開始します。登録した皆さんの携帯電話やパソコンへメールを配信するほか、電話やファクスへ防災情報を発信します。

また、指定の番号に電話をすると、自動音声により防災情報を確認出来るテレフォンサービスや、フェイスブック、ツイッターなどのSNSを活用した情報発信も行います。

詳しい登録方法などについては、市ホームページか、市役所本庁舎案内窓口にて用意している案内チラシをご覧ください。

防災情報サービスの登録はこちら

Q. メールアドレスをお持ちですか？

持っている 持っていない

メール配信の登録方法

1. こちらへ空メールを送信。

登録用アドレス
bousai.ebetsu-city@raidan.ktaiwork.jp
登録用メールアドレスは右のQRコードからも読み取れます。



※ ebetsu-city@raidan.ktaiwork.jp からの返信を受信できるように設定してください。

2. 仮登録通知のメールが届きますので、指示に従って本登録手続きを済ませてください。

電話・FAXの登録方法

市役所案内窓口か市ホームページから入手できる利用申込書に記入の上、危機対策室（〒067-8674 高砂町6、☎ 381-1070）へ提出。

こちらもご利用ください

自動音声で24時間いつでも確認
防災情報テレフォンサービス
☎ 050-5533-8204

9月1日は防災の日です。防災の日は昭和34年9月に発生した「伊勢湾台風」を契機に、地震や風水害などへの備えを促すために創設されました。この日は関東大震災が発生した日であるとともに、台風シーズンを迎える時期でもあります。

「身の安全は自らが守る」ことを一人ひとりが意識して、災害への備えについて、この日を機に見直してみましよう。

江別市でも、9月以降の防災対策として「防災情報提供サービス」や「シェイクアウト訓練」などを予定しています。防災対策として積極的に活用してください。

10月1日シェイクアウト 訓練にご参加ください

その場で
約1分間



シェイクアウト訓練
参加登録はこちらへ

※こちらのアドレスは訓練用で、上記の防災情報提供サービスの登録とは異なります。

シェイクアウト訓練は、地震を想定し、予定時間に自宅や職場で一斉に自分の身を守る行動をとることで、とっさの時に安全行動をとれるようになる訓練です。

多くの方が参加できるこの機会に、地震発生時にとるべき行動を考えましょう。

日時/10月1日(木)14時(当日参加が困難な方は、別の時間帯で自主的に参加可)。

訓練方法/当日、訓練開始を知らせるメールが届きますので、地震の揺れを想像し、約1分間その場で身を守る行動を行ってください。実際の地震を想定するためにも、周囲の人に声をかけて、一緒にご参加ください。メール登録がない方は、時間になりましたらそれぞれのタイミングで訓練を実施してください。

参加希望の方は、下記アドレスへ空メールを送信して事前登録していただくか、危機対策室までお名前と参加人数をお知らせください。

危機対策室 ☎ 381-1407、☎ 381-1070
E-mail=shakeout.ebetsu-city@raidan.ktaiwork.jp

※当日メールが届く際、マナーモードにしていても着信音が鳴る場合があります。



登録用メールアドレスはこちらのQRコードからも読み取れます。

救急の日

人間の脳は心肺停止後、約4〜6分経つと重い障害を受け、救命率は20%台と言われています。しかし、2分以内に心肺蘇生を始めた場合の救命率は90%程度。いざというときに人の命を救うため、正しい方法を身につけてみませんか？心肺蘇生法やAEDの使用法などを学べる講座・イベントを開催します。



救急医療教室 正しい知識が あなたと家族を守る

救急の日・救急医療週間にあわせて講演とAED・心肺蘇生法の実技指導などを行います。ご家族でお越しください。事前申込不要。参加無料。
主催／江別医師会、江別保健所、江別市
日時／9月5日(土)10時〜12時30分
会場／消防本部3階多目的ホール
内容／記念講演「心房細動と脳梗塞」講師 ゆきとさ循環器内科 佐藤文彦氏、救急活動の実演、AEDの説明と実演、心肺蘇生法実技指導、救急車の見学
【詳細】救急課 ☎ 382・5465、保健センター 地域医療担当 ☎ 385・4600

救命講習 普通救命講習Ⅰ

成人に対する心肺蘇生法、AEDの取り扱いなどを学びます。受講後に修了証をお渡しします。
日時／10月19日(月)9時30分〜12時30分
会場／消防本部3階多目的ホール
対象／市内に在住、在勤、在学の10歳以上(資器材を共有しますので、発熱や風邪症状などで体調不良の方は、実技講習に参加できない場合があります)。
講師／消防職員および女性消防団員
持ち物／筆記用具、動きやすい服装
【申込・詳細】9月7日(月)午前9時から電話受付。消防署救急課 ☎ 382・5465

第20回防火 ふれあい大麻

子どもから大人まで誰でも参加可能！楽しみながらさまざまな消防のコーナーを体験して防災への関心を高めましょう。

はしご車の搭乗体験では、高さ約20メートルからの眺めが大人気。応急手当コーナーでは、心肺蘇生法やAEDの扱い方、身近なものを使った止血法なども学べます。

日時／9月13日(日)14時〜16時。
内容／はしご車搭乗体験(整理券配布・小学生以上)、気象予報士による気象講話、放水体験、消火体験、煙体験、車両展示、応急手当コーナーなど。

【会場・詳細】消防署大麻出張所(大麻元町192・3) ☎ 386・8333



放水体験



はしご車搭乗体験

市内で運用開始 ひまわり8号のパラボラアンテナ

はるか3万6千キロ離れた赤道上空にある「気象衛星ひまわり8号」から、江別のパラボラアンテナを経由した観測データの配信が7月7日から始まりました。

台風やゲリラ豪雨、大雪、火山の活動経過など、防災面で欠かせない気象情報が気象庁に送られ、国内はもとより、アジア・太平洋諸国の35か国にも提供しています。

「ひまわり8号」は、観測精度が高くなり、鮮明なカラー画像の撮影が可能となるなど、新しい技術が搭載されています。

気象衛星の運用は、これまで気象庁が行ってききましたが、初めて民間の気象衛星ひまわり運用事業株式会社(略

称：HOPE)が設立され、北海道情報大学グループの宇宙技術開発株式会社とその業務の一役を担っています。

気象観測業務の継続性を確保するためには、主局(埼玉県鳩山町)のほかに副局を必要としていて、電波状態に影響する降水量が比較的少なく、地震などの災害リスクが少ない場所として江別が選ばれました。

来年度に打ち上げが予定されている「ひまわり9号」からの情報も受信し、江別は、宇宙と世界を結ぶ気象データの“中継基地”となります。

(取材／広報広聴課)

